

# 春の火災予防運動

3月1日から  
3月7日まで

## 女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局  
〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目9番岐阜市消防本部予防課内  
☎058-262-7163  
令和6年3月1日号  
(通算第50号)

### 火を消して 不安を消して 令和5年度 全国統一防火標語 つなぐ未来



三月一日から七日までの一週間は、春の火災予防運動の実施期間です。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることなどを目的に、毎年実施されています。今年度の全国統一防火標語は『**火を消して 不安を消して つなぐ未来**』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。岐阜市消防本部では岐阜

市消防協会、岐阜市危険物安全協会、岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを約三千枚作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼びかけます。

平成二十三年六月一日からすべての住宅に義務化となつている住宅用火災警報器の岐阜市における設置率は、現在八割強となっております。未設置のお宅は早期に設置しましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。



### 令和五年 岐阜市火災概要

令和五年一月一日から十二月三十一日に岐阜市内で発生した火災の総件数は百十六件で、前年の九十五件と比べると二十一件増加しました。

出火原因は、「電気関係」が二十六件で最も多く、次に「放火・放火の疑い」が十六件、「たき火」が十五件でした。

火災による死者は一人で、前年と比べると三人減少しました。

火災による負傷者は、二十八人、前年と同じでした。

建物火災の件数は、七十五件で前年と比べると十六件増加しました。建物火災のうち住宅火災は四十一件で、建物火災全体の半分以上を占めています。

火災による損害額は、約一億八千三百五十三万円で、前年と比べると約七千九十五万円損害額が増加しました。



#### 住宅防火 いのちを守る

#### 16のポイント

#### 四つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。
- 六つの対策
- 火災の発生を防ぐために、ストープやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、十年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う。

各地区の女性防火クラブから

「市橋女性防火クラブの活動」

市橋女性防火クラブ

会長 上松 幸恵

市橋女性防火クラブは、昭和五十一年に設立しました。自治会、消防団等の各種団体からのご協力、ご指導をいただき活動しています。

家庭の防火のための活動することを第一義と捉え、日々クラブ活動を実施しています。

火災予防の知識の習得、地域住民に対する防災啓発、初期消火の訓練など、家庭の防火に役に立つ活動を中心に行っています。

校区防災訓練では、食料係を担当し、地元の中学生と一緒にアルファ米を五百五十食作成し、参加者に配布しました。

非常食について、クラブ内で意見を出し合い、試食会を実施しながら「子どもから大人までおいしく食べられる非常食」を目標に様々な食品を試しています。

また、役員の研修会としまして、海津市にあります「さぼろ遊学館」に行き、土砂災害に係

る防災体験、羽根谷の模型を用いた土砂災害警戒区域等を確認しました。その他、だんだん公園を見学しました。この研修で、災害から身を守るために必要な情報や避難方法を改めて学ぶことができました。

高齢者世帯への防火訪問を実施しました。手作りした広報物品を持参して住宅用火災警報器を設置していない家には設置を促し、設置してある家に対しては維持管理について説明しました。

また、寒い時期には、ストーブ等の火気の取扱い、火の元点検についても併せて広報をしています。

火災はちよつとした不注意で発生してしまいます。今後も各種団体で協力し合い、家庭の防火・防災力の向上に努めていく所存です。



「網代女性防火クラブの活動」

網代女性防火クラブ

会長 高井 かすみ

網代女性防火クラブは、本年度総勢五名の会員で活動しております。

当クラブは、令和三年度の婦人部の廃止に伴い、一時は活動の休止を余儀なくされましたが、自治会連合会の多大なご支援のもと、令和四年度には再編成を果たし、引き続き地域の火災予防のために活動しています。

例年、各種研修会への参加や地元消防団の行事への協力を積極的に行っておりましたが、ここ数年はコロナ禍で思うように活動ができず、以前行っていた活動もほぼ中止せざるを得ませんでした。そんな中でも小学校に訪問し、火災予防広報のメッセージを添えた消毒用アルコールを寄贈するなど、できることをやろうと知恵を出し合っ活動を進めてまいりました。

そしてようやく、令和五年度からは通常通りの活動が徐々にできるようになってきました。

十一月七日には岐阜市危険物安全協会・防火協会主催の「消防研修会」で近年増加傾向にあ

る電気火災について知識を深めることができました。また、消防本部からの資料提供を受け、「住宅火災危険予知トレーニング」をクラブ内で実施するなど、本来のクラブ活動を取り戻しつつあると感じています。

今後も地域の防火・防災のためにクラブ員一丸となって活動していきたいと思えます。



消防研修会の様子

10年経ったら交換しましょう

